

令和5年度  
第2回芽室町総合保健医療福祉協議会  
『障害者部会』 議事録

日 時 令和5年10月31日(火) 18:30～19:15  
場 所 芽室町役場2階 第7会議室

健康福祉課障がい福祉係

○ 会議次第

1 開 会

2 部会長挨拶

3 議 題

(1) 障がい福祉についての意識調査 (障がい児・資料1)

(2) 障がい福祉についての意識調査

(18歳から64歳の障がい者・資料2)

(3) 障がい福祉についての意識調査 (町内会長等・資料3)

4 その他

5 閉 会

○ 出席委員及び欠席委員

別紙名簿のとおり

○ 事務局

健康福祉課

課長

森 真由美

健康福祉課障がい福祉係

係長

矢野 貴士

主任

赤坂 貴明

子育て支援課

課長

佐々木雅之

子育て支援課発達支援係

センター長

有本 和晃

子育て支援課子育て支援係

係長

大浦 啓介

1 8時30分 開会

1 開会

部会長挨拶

2 議題

(1) 障がい福祉についての意識調査（障がい児・資料1）

(2) 障がい福祉についての意識調査

（18歳から64歳の障がい者・資料2）

(3) 障がい福祉についての意識調査（町内会長等・資料3）

3 その他

4 閉会

#### ■ 審議事項

《議題（1）障がい福祉についての意識調査（資料1）》

・事務局より、資料1について説明。

Q：障がいのあることで、どのような場所で差別や嫌な思いをしましたかという場面で、福祉施設やサービス事業所の部分の項目で回答があるが、専門の場所でそのようなことが起きていることがイメージできない。

A：本人や保護者が、事業所において感じていることとして、嫌な思いや不満がある場合が少なからずあるのではないかとと思われる。

Q：医療を受けるうえでの困っていることとして、医師・看護師に正確に情報を伝えられない場合があると思うが、どのような支援ができるか。

A：保護者であっても説明が難しい部分があるため、客観的な視点をもって作成された資料を受診時お渡しすることなどにより、正確に情報を伝えられることができる。

Q：「今、地域の人に支えられていると思いますか？」で、「支えられている」「どちらかという支えられている」を合わせた割合は確かに増えているが、一方では「どちらかという支えられていない」「支えられていると思わない」と回答した人数は前回よりも増えている。このような意見があることを忘れずに、今後の方針を検討してほしい。

A：障がい児を持つ保護者の相談ニーズは多様で個別性が高く、既存のサービスでは十分に満たされないケースがあることを想像できる。計画策定においては、そのような視点をもって内容を検討したい。

意見:「どのような場所で差別や嫌な思いをされましたか?」の設問で「外出先」や「事業所」と回答している人が一定数いるが、以前よりも行動範囲が広がっていることで人との接触が増えていることが要因なのかもしれない。結果を解釈する上で考慮する必要があるのでは。「行動範囲が広がっているのかもしれない」というような設問があると浮き彫りになるかもしれない。

↓ (協議結果)

資料1の内容のとおり承認される。

《議題(2) 障がい福祉についての意識調査(資料2)》

・事務局より、資料2に基づき説明。

Q: 第4期総合保健医療福祉計画において、包括的支援体制が掲げられている。今回の調査において「地域の人に支えられていると思いますか」という設問に対して「支えられている」と回答した方はたしかに増えているが「支えられていると思わない」と回答している方もいることにも留意しながら、次期計画の作成にあたってもらいたい。

A: 承知した。

↓ (協議結果)

資料2の内容のとおり承認される。

《議題(2) 障がい福祉についての意識調査(資料3)》

・事務局より、資料3に基づき説明。

↓ (協議結果)

資料3の内容のとおり承認される。

3 《その他》

・事務局より、今後のスケジュールを説明する。部会長より、次期計画の素案作成にあたっては、前回の計画との変更点が分かるように説明していただきたいとの指示がありました。

19時15分 閉会